

市民と市長の意見交換会<金井地区> 質疑要旨

日時：令和4年12月4日（日）15：30~16:00 会場：金井コミュニティセンター

参加人数：21名

1. 市政について

市長より説明	(説明内容) ○コロナ対策について ○プレミアどこでも商品券、忘・新年会応援券について ○物価高騰等に係る支援について ○地域防災力の向上に向けて ○令和4年度の政策について
--------	--

2. 質疑や意見

質問者 (居住地区)	意見の要旨	市長の回答	関係部署
泉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・佐渡の子育て世代に力を注いで、福祉を充実してほしい。給食費の無償化と有機食材や国産野菜を使った安全安心な食材を給食に提供してほしい。</li> <li>・教育に係る費用を無償化してほしい。</li> <li>・野菜作りを推進している地区には野菜作りをしたい人がいるので、野菜作りを指導してくれる人を市から派遣してほしい。</li> <li>・食材やエネルギーの自給率を上げてほしい。森林（佐渡の資材）を活用したやり方ができないか。</li> <li>・移住した人から言われたが、佐渡の水を活かした小水力発電を取り入れるべく、勉強をしてもらいたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・給食の無償化についてはできる限り対応していきたいと考えているが、2億円くらいの予算が必要となり、市の規模を考えると難しい。物価高騰分についての給食費の値上げは実施していない。来年度についても給食費の負担にならないよう考えていく。</li> <li>・教育無償化については国がやるべきことだと考えているので、今後も国へ要望していく。</li> <li>・おいしい給食については、無農薬野菜の提供は難しいが、お米についてはオーガニックのものに代えて提供できるよう考えている。子育てについては、奨学金の返済や出生祝い金の支給、3人目以降の支援、医療費補助などを実施しているので子育て支援全体をみていただきたい。</li> <li>・野菜作りを指導する人の派遣については、市というよりも農協がやらなければならないと考えている。農協とは移住者の働く場所として、ハウス園芸を活用することについての話は進めている。地域でまとまって取り組むのであれば農協でも対応してくれると思うので、市としても応援していきたい。</li> <li>・佐渡の森林は50年を過ぎて、材として使える木がないので利用が難しい状況である。木材としては使えないのでバイオマスを含めてどんどん切っている。脱炭素先行事例としても協議していく。</li> <li>・小水力発電については、佐渡には水はあるが、対象となる農業用水路では常時流れている川がないので難しい。</li> </ul>	社会福祉部 農林水産部 教育委員会
本屋敷	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市役所の中で、いろいろな意見を出せるようなサークル活動を通して職員の意識を上げるための雰囲気を作ってほしい。ISO活動をやってほしい。</li> <li>・バイオマスの話で、佐渡の森林組合は赤字と聞いているので佐渡市にある4つの森林組合を統合してバイオマス取り組みを進めてほしい。</li> <li>・佐渡市の医療を良くしてほしいと思っている。佐渡市の公立病院は数千万円の赤字になっていると聞く。老人医療をしっかりしないと安心して暮らせないと思っているので、医療の中心を担える病院としてほしい。</li> <li>・市役所の仕事が忙しくて集落の用務が出来ないという人がいる。逆ではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公務員は自分の仕事を中心となっており、自己研鑽が不足している。人材育成は重要と考えているので、若手を中心に「おもてなし、デジタル」などのチームを作って職員の育成に取り組んでいる。</li> <li>・森林組合については、新潟県が所管となっており細かい部分について言及することは難しいが、財政状況について、かなり厳しい状況と聞いている。県を中心に関係機関とも一緒に考えていきたい。</li> <li>・医療については、公立病院はほぼ赤字となっており、原因は国の診療報酬も関係していると考えている。経営については努力しているが、老人医療については報酬体系で安くなってしまっている状況がある。医師不足については、新潟県と一緒に確保に努めている。また今回、離島振興法の改正があったので、人が住むための基本的な部分はライフライン（医療と水道）であるので国に訴えていく。</li> <li>・職員のことについてはしっかりと取り組んでいきたい。</li> </ul>	総務部 農林水産部 市民生活部

質問者 (居住地区)	意見の要旨	市長の回答	関係部署
金井新保	<p>金井地区にある護国神社については昭和24年に当時の婦人会と有志が立ち上げたもので、その後、各市町村の遺族会で慰霊祭を実施してきた。役員も高齢化して人数も少なくなり存続が困難となってきた。神社としてではなく、名目を変更して佐渡市へ寄付したいと考えている。福祉施設などとしての活用など可能かどうか市長の意見をお聞きしたい。</p>	<p>佐渡市で受けとってほしいということになると、条例で行政財産としての目的がはっきりしないと大変難しい。市の行政財産として管理することになる場合、耐震工事が行われていないと難しいとご理解いただきたい。あとは金井地域センターと相談してほしい。</p>	<p>総務部 金井地域センター</p>
金井新保	<p>ここ数年、地域から要望する道路改良などについては、「他要望との比較や予算状況から現段階では実施できない状況」と昨年と変わらない回答しかない。集落から見ると税金を払っているのに何も変わらないと感じてしまう。職員と話しても前に進むような会話になっていないので、相談しづらい。計画的に進めるなどの方向があるのなら、そういう説明をして市民の方へ向いて取り組んでもらいたい。</p>	<p>常日頃から市民のために仕事をしてほしいと職員には伝えているが、説明の仕方が不足している面もあると思う。地域から要望のある道路改良については、どうやったらできるか部長会議などでも議論して、少しでも前を向いて進めていく。</p>	<p>建設部 金井地域センター</p>
泉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・議会の一般質問で市長が答弁されている「佐渡の良さを知ってもらいたい」、「Uターンをどう繋げようとしているのか」と述べているが、具体的にどのように地域愛を育てていこうと考えているのか。</li> <li>・日本は文化立国を掲げている。高等機関の設置など佐渡でしかできないことを通して人づくりを地元でできるよう進めてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリア教育は地域を知ることだと考えている。世界遺産にはどんな価値があるのか、知らない人は答えられないと思う。そこを答えられるよう育てていく。もう一つは、佐渡には自然がある、美しい島とビジネスが成り立つということを大人が見せていく。昔からの東京へ行くことが良い、という概念を捨てて変わらなければならない。そして子どもから大人まで、佐渡は良い所だという誇りを持ってもらえるようにしていきたい。佐渡を知ることについては、教育委員会が取り組んでいるが、佐渡未来講座のアドバイザーからも佐渡の魅力を情報発信してもらい、佐渡市民にも良さを知ってもらえるよう取り組んでいる。</li> <li>・人づくりについては、伝統文化と環境福祉の専門学校の建築学科が人気で、研修が充実しているのは佐渡の特徴をいかしたものである。このほか佐渡にIT企業が入ってきているので、高校生から人材を育成していくことも取り組もうと考えている。佐渡にしながら学べるようなことを考えている。</li> </ul>	<p>地域振興部 教育委員会 総務部</p>